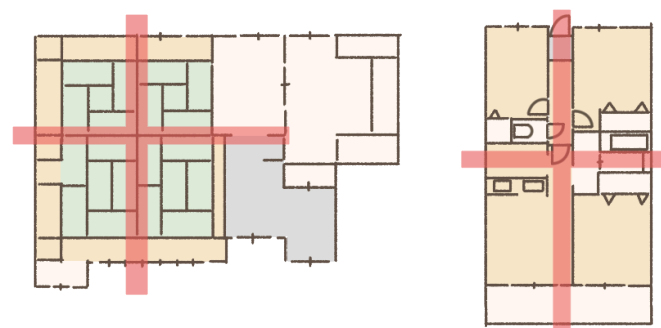




家づくり用語集

田の字プラン

廊下が真ん中を通り、キッチンや浴室を中央にはさんで、居室とリビングを田の字型に配置した間取りのこと。マンションなどの集合住宅では最も一般的な間取りです。



株式会社フォーセンス

〒330-0854
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目
398-1 アドグレイス大宮7F

TEL : 048-741-9125
FAX : 050-3537-6440

おうちがしあわせ ～インテリアの冬支度～

秋が深まり、段々冬らしくなってきましたね。冬支度の準備は進んでいますか？暖房器具などはもちろんですが、インテリアにも温かなアイテムをプラスして冬を楽しく過ごしましょう。

■色であったかコーディネート

インテリアの印象を左右する要素の主なものには「色」「形」「素材」がありますが、心理的な影響が最も大きいのが「色」です。色には暖かく感じる「暖色」と涼しく感じる「寒色」があります。

太陽や炎をイメージさせる赤、オレンジ、黄色系の色を「暖色」、逆に水や氷を思わせる青系の色を「寒色」といいます。この暖色と寒色の部屋では体感温度に3度前後の差があると言われています。

そこで、寒い季節には、温かみを感じさせる赤やオレンジといった暖色系を取り入れるのがおすすめ。お部屋全体の色を変えるのは大変ですが、クッションや布団カバー、ブランケットなどに暖色を取り入れるだけでも雰囲気が変わりますよ。



■素材であったかコーディネート

ふんわりとした素材感のものは見るだけでも暖かな気分になりますね。例えば室内履きやクッションや膝かけなど、小物アイテムにフェルトやニット素材など、ふんわり感やモコモコ感のある素材を取り入れてみてはいかがでしょうか。実際の肌触りだけでなく、見た目でも暖かな気分になれそうですね。

■照明であったかコーディネート

最近、インテリア雑貨として人気のキャンドル。飾っておくだけでも素敵なインテリアになりますが、寒いこの季節にはぜひ、実際に炎を灯してみましょ。温もりのあるキャンドルの優しい光には心と体を癒す様々な効果があると言われています。キャンドルの炎のかすかな揺れには「1/fのゆらぎ」と言われるリズムがあり、人に心地よさを感じさせる効果があるそうです。

冬の長い夜、たまには電気を消してキャンドルの光を楽しんでみてはいかがでしょうか。



住まいる通信

11

発行日2025年11月1日

月号



1
食の旬暦・・・・・・・・・・1
家づくりのワンポイント
アドバイス・・・・・・・・・・2
暮らしのマナー・・・・・・・・2
家を建てよう・・・・・・・・3
住まいのヒント・・・・・・・・3
家づくり用語集・・・・・・・・4
おうちがしあわせ・・・・・・4

イラスト:ばるばる

食の旬暦

11月 レンコン



レンコン(蓮根)はその名の通り、ハスの肥大した地下茎です。

野菜の中では、たんぱく質や炭水化物を多く含みエネルギーが多く、ビタミンCが豊富です。しかも、レンコンはでんぷん質が多いため、加熱しても相当量のビタミンCが残ります。また野菜としては珍しくビタミンB12が豊富で、貧血を予防し、肝臓の働きを助けます。

形がふっくらとして丸く肉厚で、節と節の間が長く太くてまっすぐなものを選びましょう。切り口や穴の内側が黒っぽいものは、古くなっています。鉄製の調理器具を使うと、仕上がりが黒っぽくなるので、鉄のフライパンや鍋での調理は避けましょう。

レンコンのしょうゆ漬け

材 料 レンコン150g、にんじん80g
(4人分) しょうが適量、にんにく適量、唐辛子1本
(A)しょうゆ大さじ3と1/2、酢大さじ2、
酒大さじ2、砂糖大さじ1

作り方

- ①レンコンは皮をむき、酢水で5～10分(大きさによりに加減)ゆでる。
- ②水にとって冷まし、薄切りにする。
- ③ニンじんはやや大きめの薄切り、しょうが、にんにくも千切りにする。唐辛子は種を取り除き、小口切りにする。
- ④②③を混ぜ合わせビンにつめる。
- ⑤漬け汁(A)を沸騰させ、冷めたら④に注ぐ。時々ビンの上下を返しなが半日くらい漬け込むと出来上がり。冷蔵庫で一週間くらい保存できます。

玄関先の安全を守る「ドアホン」は、いまや単なる呼び出しベルではなく、住宅のセキュリティを担う重要な設備になっています。1995年頃から普及した「TVドアホン」は、訪問者の顔を確認できることから人気を集めました。そして2025年の今、その機能は大きく進化し、スマートホームの中核デバイスとして欠かせない存在となっています。

AIとスマホ連携で安心・便利に

最新のスマートドアホンは、従来の「映す」「応対する」という役割を超えて、住まい全体の安心をサポートしています。カメラは高画質で、夜間でも鮮明に人物を映し出し、広角レンズで玄関周辺を広くカバー。AIによる顔認証機能により、家族や常連の来訪者は自動的に識別され、スマートフォンやスマートウォッチに「〇〇さんが来訪しました」と通知が届きます。



外出中でもアプリを通じて来訪者と通話が可能なので、宅配便の再配達依頼や置き配の指示もスムーズ。さらに子どもが学校から帰宅した際には、玄関に立った瞬間に保護者のスマホへ映像が送られ、安心して見守ることができます。

防犯から暮らしの利便性まで

セキュリティ面でも進化が著しいのが最新機種の特徴です。人の動きをセンサーで感知し、不審者が玄関先に立ち止まった場合には自動で録画を開始。データはクラウドに保存されるため、万が一の際も確実に証拠を残せます。さらに火災報知器やスマートロック、防犯カメラとの連携も可能で、来客対応後にアプリ操作で玄関を解錠するなど、便利で安心な暮らしを実現します。

利便性の向上も見逃せません。ワイヤレス子機やスマートスピーカーと連動すれば、家中どこにいても応対が可能。外出先からでも操作できるため、旅行中の防犯対策としても効果を発揮します。

防犯性と快適性を兼ね備えた最新モデルは、これからの家づくりやリフォームに欠かせない設備といえるでしょう。住まいの安心をアップデートする第一歩として、導入を検討してみはいかがでしょうか。



暮らしのマナー ～ほめられた時には～

ほめられるのは嬉しいこと。自分がほめられると、つい「そんなことはありません」「私なんか全然」と謙遜してしまいがちですね。謙遜するばかりではなく、感じがよく、スマートな受け答えができればいいと思いませんか？

誰かにほめられたら、まずは「ありがとう」と笑顔で答えましょう。謙遜と照れから、「そんなことないです。」「全然です。」「そうですか？」という受け答えばかりしていると、逆に「素直じゃないな」と思われてしまうかもしれません。「気づいてくれてありがとうございます」「そんな風に言っただくと、自信になります」とほめてくれた人を立てる言葉を返せば、相手の方も嬉しい気持ちになりますね。

仕事で結果が出た時に、最近不調な同僚からほめられた時には、「ありがとう。まあなんとかね」とさりげなく答えましょう。相手の複雑な心境を考慮しつつも、謙遜ではなく感じよく伝えたいなら、「自分でも嬉しいと思っているんだ！」「とさっと伝える手もあります。逆に自分にとってのライバルや苦手な人のことをほめられたとしても否定的なことは言わず、「うん。頑張っていてすごいよね」と言える余裕を持ちたいですね。



家を建てよう

vol.23 建ぺい率と容積率

建ぺい率・容積率とは

建ぺい率 敷地面積に対する建築面積の割合

$$\text{建ぺい率}(\%) = \frac{\text{建築面積}}{\text{敷地面積}} \times 100$$

容積率 敷地面積に対する延べ床面積の割合

$$\text{容積率}(\%) = \frac{\text{延べ床面積}}{\text{敷地面積}} \times 100$$

建ぺい率と容積率は、用途地域で制限されています。制限を超えて建てることは出来ません。

「用途地域」については次回紹介します！

建ぺい率・容積率は、用途地域で制限されています。制限を超えて建てることは出来ません。

「用途地域」については次回紹介します！

建ぺい率と容積率は、用途地域で制限されています。制限を超えて建てることは出来ません。

「用途地域」については次回紹介します！

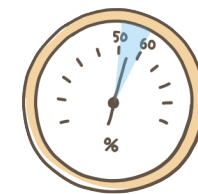
住まいのヒント ～お部屋の乾燥対策～

冬の室内は湿度に注意しましょう

室内の空気の乾燥が気になる季節になってきましたね。人が快適だと感じる湿度は50～60%ですが、冬はかなり下がります。湿度が下がると、のどや気管支からウイルスが感染しやすくなり、風邪をひいたり体の抵抗力が弱くなってきますので、乾燥対策はしっかりしたいですね。

乾燥対策としては加湿器を利用している方も多いと思いますが、加湿器を置いていない部屋でも、手軽に湿度を上げる方法があります。

まず、短時間で最も効率的に湿度を上げるのは、小ぶりなタオルを濡らして、タテに吊るしておくことです。コップに入れた水などより空気に触れる表面積が大きく、またパイル状になった凹凸があり表面積がさらに大きくなるので、湿度アップに効果的です。もちろん洗濯物を部屋干しするのもいいですよ。



また、球根栽培の植物や観葉植物を室内に置くのもおすすめです。植物は、根から水を吸い上げて葉から水蒸気を出す「蒸散作用」を行っていて、自然の加湿器になってくれます。濡れタオルのような即効性はありませんが、手間もかからず、インテリアにもなりますし、置いておくだけで穏やかに湿度調整をしてくれます。できれば葉っぱが大きな植物の方が、よりその効果が大きくなります。ハイドロカルチャーの植物も鉢に水を貯めて育てるので、乾燥対策になりますね。



一方、加湿しすぎも問題です。閉め切った室内で加湿しすぎると、カビやダニはもちろん、結露などのトラブルを引き起こしてしまいます。一時間に一回程度は、窓を開けての換気も心がけましょう。

